



発行者
 社団法人 静岡県珠算協会
 社団法人 全国珠算教育連盟静岡県支部
 (静岡市駿河区八幡2丁目)
 発行人 中林正隆
 編集人 深澤好胖
 印刷所 大多印刷所



新年のご挨拶

中林正隆

明けましておめでとうございます。皆様にはご健勝にてよき新年をお迎えることとお慶び申し上げます。本年もよろしく御指導の程お願い申し上げます。

昨年の漢字は「金」で表現されました。

史上最高の三十八個のメダルを獲得と、金環日食がその理由でした。

その中で、団体競技で、サッカー、卓球で女子が、男子では水泳の四〇〇メートルモデルリレー、体操とフェンシングで銀メダルをとりました。今回は女子選手の活躍が目立ちました。

外交問題では、尖閣諸島、竹島、北方領土といった国境の島々をめぐる、隣国である中国、ロシア、韓国との間で、永年くすぶっていた領土問題が一気に噴出し、今、戦後最大の「領土危

機」に瀕しています。

政争に明け暮れた政治情勢も、年末の総選挙において自由民主党が大勝利株価が急騰、新年に向けて明るい材料と期待したいところです。

公益法人関係では、全珠連本部が公益認定を申請中で本年度中に認定を受けられる予定です。

会計について、支部会計は本部からの交付金、その他の補助金に対する支出報告で他については任意団体によることとなり、本県では珠算協会を取り込むことといたします。そのため移行申請に当たり公益認定が困難と判断されたため、当面、一般法人の認可を申請し、事業・会計が軌道に乗ってきた時点で公益認定を申請することになります。

そのため、一般社団法人としての定款案を静岡県のご指導を仰ぎ、この度

臨時総会に上程する運びとなりました。

昨年末の理事会では審議の中の諸問題をお知らせいたします。

検定試験について、
 一、一級から三級の試験を導入せよ。
 全珠連の会員に関する規則に抵触する恐れがある。

二、現在の検定を廃止して全珠連検定に変える。

静珠協の財源確保に問題あり検討を要する。

三、事務委託費を二十パーセントに増額せよ。

財源確保の検討が必要。

検定事業費の中の労働対価とのバランスを考える必要がある。

「公益目的支出計画」のご指導の中で事務委託費について剰余金の分配の疑義ありとの指摘があった。

四、検定事業費の収支相償について
 検定受験料はその全額を検定事業費

で費消しなければならぬ。

収支相償とは公益事業全体で考えてよいのではないか。

何れにしても「利益の分配」と判断される恐れのある支出については慎重に考えるべきで、剰余金を会費の返還で処理はできない。

かといって、すべてボランティアでなくて正当な労働の対価は確保したいものです。

先日、会員外受験について問題が提起されました。

全珠連の公益事業の柱としての珠算検定試験は、受験資格について制限をしないことになっております。この原則を踏まえての運営をお願い致します。

本年は役員改選が行われます。全珠連の公益社団法人発足に伴い、代議員、常任委員の選出について本部の指示待ちです。

何れにしても、私心なく公正な人材の選出をお願いし、皆様のご健勝を祈念して新年の挨拶いたします。

平成二十四年度 全日本通信珠算競技大会 静岡県大会

競技部長 荒木田富枝

平成二十四年度全日本通信珠算競技大会が十月十四日(日)に開催されました。

静岡県では六会場・六三〇名、